

—命と光と愛を世界のために—

LIFE, LIGHT AND LOVE FOR THE WORLD

GROWTH



後援会通信 春号 vol. 2 2003.4

—大学と家庭をむすぶ— Linking the University with Families

 東北学院大学

CONTENTS

● ごあいさつ	2
● 平成15年度後援会総会開催概要	4
● 平成15年度地区後援会開催一覧	5
● 新入生特集 私の出身高校	6
● キャンパス・スケッチ	8
● ゼミナール訪問	10
● 大学の年間スケジュール	11
● 私と東北学院	12
● キャンパスニュース・トピックス	13
● キャンパスの声・教務部だより	14
● 就職問題を考える	15
● 同窓生インタビュー「今、旬の人」	16
● 各種奨学生のご案内・後援会からのお知らせ	17
● サークル紹介	18
● 編集後記	19

表紙：泉キャンパス礼拝堂



後援会 会長
村 松 巍

(株)七十七銀行代表取締役頭取、同銀行代表取締役会長、(社)全国地方銀行協会副会長などを歴任。

現 在

仙台商工会議所会頭、日本商工会議所副会頭、東北六県商工会議所連合会会長、東北経済連合会副会頭、(株)七十七銀行相談役、在仙台スウェーデン名譽領事など多数の要職に就任。

ごあいさつ

桜花爛漫、うららかな季節となりました。在学生のご父母の皆様には、ますますご健のこととお慶び申し上げます。日頃は本後援会の活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。今春も伝統ある東北学院大学に3,000名余の新入生を迎えることができました。新入生のご父母の皆様、ご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

さて、東北学院大学後援会は、在学生のご父母の皆様を会員として、ご子女の円滑な学生生活と大学の充実・発展に寄与するため昭和24年に設置されました。設置されてから早半世紀以上が過ぎますが、その間“大学と家庭をむすぶ”をモットーに各種事業を展開して参りました。その中でも、後援会総会や地区後援会は最大の事業であり、ご父母の皆様と大学の教職員が

直接交流できる場として大変好評をいただいております。

また、後援会では、皆様からの会費をもとに課外活動に対する補助や奨学金への助成を通して、ご子女の学生生活の支援も行って参りました。近年、経済情勢が不安定で家計状況が急変し、奨学金貸与を希望する学生が増えていると聞いております。大学は貸付奨学金制度を導入し「緊急貸与奨学金」を交付しておりますが、後援会では支援活動の一つとしてその「緊急貸与奨学金」へ助成を行っております。

このように、後援会は大学と家庭の連携を密接にしながら活動しており、本年度も後援会総会と地区後援会を計画し実施して参ります。後援会総会では、大学の協力を得て「施設見学」「大学教員による公開講座」「パイプオルガンコンサート」「学科別懇談会」「教務部・学生部・就職部による相談コーナー」など大学解放プログラムを多数ご用意しております。この機会に多くの会員の皆様と大学の教職員が意見を交わすことができ、併せてご子女と一緒にTGファミリーとして有意義にお過ごしいただければ幸いです。

地区後援会については、北は旭川から南は浜松までの全32地区で開催いたします。後援会総会同様、熱心な会員の皆様のご要望にお応えし、お役に立つことができますよう今年も大学の教職員を直接派遣し大学の教育方針や近況報告、あるいは教務部・学生部・就職部からの説明と個別の相談も実施いたします。後援会といましましては、ご子女の成績や学生生活、あるいは就職についてご父母の悩みや不安の解消に少しでも繋がればと願っている次第です。

最後に、会員の皆様方には今後とも後援会活動に積極的にご参加をいただき、更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

後援会
役員名簿

平成15年4月1日現在

会 長 村 松 巍 (仙台市)	理 事 佐久間 敬 子 (仙台市)	理 事 成 田 智 典 (青森市)
副 会 長 三 島 卓 郎 //	// 寒河江 満 子 //	// 高 橋 秀 彦 (秋田市)
// 江 馬 成 夫 //	// 浅 野 ひとみ //	// 深 澤 穎 彦 (横手市)
庶務担当理事 後 藤 久 幸 //	// 朝 倉 隆 文 //	// 工 藤 敏 納 (盛岡市)
会計担当理事 阿 部 省 一 //	// 壱 岐 洋 治 //	// 及 川 和 夫 (北上市)
理 事 平 野 貞 夫 //	// 柴 田 仁市郎 (塙釜市)	// 大 友 敏 男 (宮古市)
// 高 橋 俊 宏 //	// 古 閔 英 一 (多賀城市)	// 浦 島 康 弘 (大船渡市)
// 堀 田 正 昭 //	// 門 脇 利 勝 (石巻市)	// 佐 島 清 人 (山形市)
// 阿 見 孝 雄 //	// 坂 本 憲 一 (気仙沼市)	// 笹 敬 史 (新庄市)
// 伊 東 知 男 //	// 千 葉 倫 男 (札幌市)	// 柴 橋 敬 一 (酒田市)

後援会会員の皆様には、東北学院大学の教育・研究に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

東北学院は、1886年(明治19年)に教師2名と生徒6名からはじまり、今年で創立117周年を迎えます。その間、1949年(昭和24年)には学校教育法の改正に伴い東北学院専門学校が新制大学に昇格し、現行の東北学院大学がスタートいたしました。当時は文経学部の单一学部で英文学科と経済学科の2学科だけでしたが、現在では5学部11学科3専攻を擁し、東北・北海道地区を代表する総合私立大学に発展するまでになりました。

現在、東北学院大学には学部学生が約13,000名と大学院生が約200名在籍し、学問研究の研鑽と課外活動にそれぞれ励んでおります。本学の教育目標は、キリスト教文化の持つグローバルな価値の伝達、それを基礎とした幅広い人間形成を目指すことです。創立以来、本学はプロテstant・キリスト教に基づく人間形成を建学の精神とし、個人の尊厳を重視する教育の伝統のもとに聖書の隣人愛と奉仕の教えを大切にしてきました。同時に、専門の知識や技術を活かし、それを公共の利益と人類の福祉のために用いることができる人間教育を重んじてきました。

このように、東北学院大学は学生の広い学習や色々な可能性に応えうる教育・研究体制を整えていますが、後援会からのご援助が、これらの学生の多様な学生生活と個性豊かな人格形成に大いに役立っていることは申し上げるまでもございません。これは、多くの優れた卒業生の各界での活躍が、その何よりも証と言えると思います。

いま世界は、社会、政治、経済のあらゆる領域で急激に変化しています。そこに見られる大きな流れは、高度情報化を背景としたグローバリゼーションです。この中にあって、新しい世紀を生きる学生の皆さんには、地球規模の視野を持って、それぞれの立場で責任を自覚しながら生きていく人間となっていたいとこ

理事 佐々木 信 之 (福島市)	参 与 関 谷 登	事務局員 高 橋 嘉 男
〃 石 田 博 基 (郡山市)	〃 大 塚 浩 司	〃 清 水 時 郎
〃 只 野 裕 一 (相馬市)	〃 平 河 内 健 治	〃 井 上 捷 二
〃 福 井 由 紀 (新潟市)	〃 遠 藤 和 朗	〃 菅 野 健 健
監 事 伊 東 幸 三 (仙台市)	〃 中 村 英 英	〃 吉 田 俊 一
〃 天 江 皓 一 〃	〃 鹿 又 武 敏	〃 桔 今 元 子
〃 白 木 進 〃	〃 渡 部 敏 夫	〃 野 靖 仁
	〃 細 谷 良 夫	〃 石 山 武 久
顧 問 赤 澤 昭 三	〃 佐 々 木 哲 夫	〃 小 原 貴 繁
〃 倉 松 功	〃 高 橋 克 己	

学長
倉 松 功



東北学院大学文学部教授。文学博士。

東北学院大学学生部長、キリスト教研研究所所長、学務担当副学長を歴任し、平成7年(1995年)4月から学長。専攻はドイツの宗教改革、キリスト教思想史。前日本基督教教会理事長、(社)日本私立大学連盟理事、キリスト教学校教育同盟理事。主要著書は『ルター神学とその社会教説の基礎構造』『宗教改革、教育、キリスト教学校』など

ごあいさつ

とを期待しております。

本学は、明年4月法科大学院の開設、教養学部の3専攻を3学科に昇格すると同時に新たに学科を増設し4学科制への拡充など、常に時代の要請に応える大学へと日々改革に努めております。これからも本学独自の伝統を重んじつつ、21世紀に活躍する学生の皆さんに幅広い学びの場を提供することができるよう、教職員一人ひとりが努力を惜しまない所存です。また、本学学生がその掛け替えのない学生時代に自らの個性を磨き、人間として大きく成長することを願ってやみません。

平成15年度後援会総会開催概要

日時：平成15年5月24日(土)10時40分

場所：泉キャンパス礼拝堂

- 今年度から緑が一番映えるこの時期に総会を開催することになりました。当日は、本学教員による公開講座やパイプオルガンコンサートをはじめ、学科別懇談会、各部相談コーナーなど大学解放プログラムを多数用意しております。この機会に、ご子女の学生生活の一端に触れていただければ幸いです。皆様方のご参加をお待ちしております。



時 間	プロ グ ラ ム
9:00~14:00	受付 個人別資料(1年生「科目登録届」のみ、2~4年生は「成績表」と「科目登録届」)を配付いたします。
10:00~10:30	大学礼拝 ご子女と一緒に大学礼拝に出席してみませんか。聖書を開き、説教に耳を傾け、讃美歌を歌いましょう。
10:40~12:00	後援会総会 (1)開会宣言 (2)聖書朗読・祈禱 (3)後援会会长・学長あいさつ (4)議事 ●平成14年度庶務報告 ●平成14年度収支決算報告 ●会計監査報告 ●平成15年度収支予算案説明 など (5)閉会宣言 教務部・学生部・就職部からのご説明
12:00~12:30	休 憩(自由時間)
12:30~13:20	本学教員による公開講座
13:30~14:20	パイプオルガンコンサート パイプオルガンの莊厳な音色の中で優雅なひとときをお過ごし下さい。
14:30~15:30	学科(専攻)別懇談会 (1)学科(専攻)の教育内容について ●教員スタッフの紹介 ●カリキュラムの特色 ●講義及び演習内容(研究テーマ) ●学科に関連する施設・設備の内容 など (2)質疑応答(学科の教育内容、授業内容など何でもご質問下さい) (3)学科(専攻)教員との自由懇談(希望者)
16:30(終了)	11:00~14:30 屢 食 受付にて「屡食券」をお渡しいたしますので、学生食堂にて屡食をお召しあがり下さい。 12:30~16:30 相談コーナー 教務部 ●科目登録について ●成績表の見方について ●進級・卒業について 学生部 ●奨学金について ●クラブ活動について ●アルバイトについて 就職部 ●進路全般について ●企業への就職活動について ●教員・公務員への試験対策と準備について どのようなことでも気軽にご相談下さい。

平成15年度地区後援会開催一覧

日時：平成15年8月2日(土)～9月13日(土)

場所：旭川から浜松まで全32地区（詳細は、下の開催地区一覧をご参照下さい。）

- 総会と同じ内容で実施いたします。各地区に教職員を派遣して、ご父母の皆様方と十分に懇談ができるよう準備を整えております。なお、地区後援会のご案内については、該当する地区の皆様を対象として6月下旬に改めて行います。

開催地区	期　　日	会　　場	地区後援会プログラム（予定）
旭　　川	8月 8日(金) 9時30分～13時00分	旭川ターミナルホテル	個別面談（希望者）
札　　幌	8月 9日(土) 〃	京王プラザホテル札幌	＜全体会開始＞
函　　館	8月 7日(木) 〃	函館ハーバービューホテル	大学からのごあいさつ
青　　森	8月30日(土) 9時30分～14時00分	青森国際ホテル	教務部からの説明
弘　　前	8月29日(金) 9時30分～14時00分	シティ弘前ホテル	学生部からの説明
八　　戸	9月13日(土) 10時00分～14時30分	八戸グランドホテル	就職部からの説明
大　　館	8月29日(金) 9時30分～13時00分	秋北ホテル	本学教員による公開講座
秋　　田	8月30日(土) 9時30分～14時00分	秋田ビューホテル	大学紹介ビデオ上映
横　　手	9月 6日(土) 9時30分～13時00分	横手ステーションホテル	＜全体会終了＞
盛　　岡	8月 2日(土) 9時30分～14時00分	ホテルメトロポリタン盛岡	昼食（※軽食を準備いたします）
宮　　古	9月 5日(金) 9時30分～13時00分	浄土ヶ浜パークホテル	個別面談（希望者）
釜　　石	9月 6日(土) 〃	釜石ベイシティホテル	
北　　上	9月 5日(金) 〃	ホテルシティプラザ北上	
一　　関	9月 4日(木) 〃	ホテルサンルート一関	
大　　船　渡	9月12日(金) 〃	大船渡プラザホテル	
気　　仙　沼	9月13日(土) 〃	サンマリン気仙沼観洋	
新　　庄	8月29日(金) 〃	ニューグランドホテル	
山　　形	8月30日(金) 9時30分～14時00分	ホテルキャッスル	
鶴　　岡	9月12日(金) 9時30分～13時00分	東京第一ホテル鶴岡	
酒　　田	9月13日(土) 〃	ル・ポットフー	
米　　沢	9月 5日(金) 〃	東京第一ホテル米沢	
福　　島	8月 2日(土) 9時30分～14時00分	福島ビューホテル	
郡　　山	8月30日(土) 〃	郡山ビューホテル アネックス	
会津若松	9月 5日(金) 9時30分～13時00分	会津若松ワシントンホテル	
原　　町	8月 7日(木) 〃	ロイヤルホテル丸屋	
い　わ　き	8月 8日(金) 〃	いわき東急イン	
水　　戸	8月 9日(土) 〃	水戸京成ホテル	
宇　　都　宮	9月 6日(土) 〃	ホテルサンシャイン	
新　　潟	9月 6日(土) 〃	新潟東急イン	
高　　崎	8月 7日(木) 〃	高崎ワシントンホテルプラザ	
東　　京	8月 9日(土) 〃	品川プリンスホテル	
浜　　松	8月 8日(金) 〃	オークラアクシティホテル浜松	



聖靈女子短期大学付属高等学校

秋田市南通みその町4番82号。全日制普通科に女子981人が在籍。同校は、1909年(明治42年)に女子職業学校として創立。1948年(昭和23年)に新制高校に昇格し、1954年(昭和29年)には短期大学設置とともに現在の聖靈女子短期大学付属高等学校と改称。今年で創立94周年を迎え、卒業生は15,000人を超える。



文学部英文学科1年
浅野 香さん

浅野香さんの母校は、私立聖靈女子短期大学付属高等学校。聖靈高校は、JR秋田駅から南西方向に約1.5キロ離れた秋田市中心部の住宅街に立地している。周辺には、千秋公園や久保田城表門、また世界的な洋画家・藤田嗣治の作品収蔵数日本一を誇る平野政吉美術館などがあり、佐竹藩の城下町として栄えた歴史と文化を伺うことができる。

同校を運営する学校法人聖靈学園は、ローマに本部を置く聖靈会(カトリック系修道女会)によって1908年(明治41年)に幼稚園を開園した時に始まり、同校は翌年の4月に13名の女子生徒からスタートした。以来、「光の子として歩みなさい」を教育目標に掲げ、今年で創立94周年を迎える。創立当初から同じ地にあり、今では秋田県内唯一のミッションスクールとして国際性を育み、生徒自身の可能性を伸ばす教育を実践している。三浦清子教頭は、「相手を思うこころ」を大事に育てたい。卒業後も聖靈に入ってよかったです、と聞くのが嬉しい。」と話す。

同校では、ミッションスクールの特色を活かし毎朝5分間の“祈りの時間”を設け、生徒一人ひとりが心を落ち着かせて授業に入る。また、同校は生徒の適性を見極めて国際コース・特進コース・普通コースのコース制を導入し、入学時からそれぞれのコースに分かれて学習する。各コースとも将来の夢や可能性を広げていくために効果的なカリキュラムが組まれている。進学率では秋田県内6位を誇り、2002年3月卒業生の実績では、国立が秋田大・岩手大・弘前大をはじめお茶の水女子大や高崎経済大など、私立では東北学院大学をはじめ秋田経済法科大・東北薬科大・宮城学院女子大・青山学院大・東京女子大・上智大などに進学している。

課外活動も盛んで、過去に全国優勝するなど輝かしい実績を持つフェンシング部をはじめ、テニス部や卓球個人でインターハイ出場を果している。文化部では、平成14年度秋田市文化選奨を受賞した吹奏楽

部のハンドベルクワイアの活躍が光る。「ともに汗を流し、感動を分かち合うことで友情が育まれます。部活動は高校生活の大切なひとコマ。」と三浦教頭。

浅野さんは小学校から英語を学び、迷わず国際コースへ。高校2年生の時には、姉妹校のオーストラリア・セイクレッドハートカレッジに2週間の語学研修を経験した。得意だった英語がうまく使えず、なかなか意思が伝えられなかつたらしい。「もっと英語を勉強したい。昨年の8月2日に開催された東北学院大学のオープンキャンパスに友人と参加して、伸び伸びとした雰囲気が気に入りました。」と浅野さん。初めて親元を離れ、現在はアパートでの一人暮らし。慣れない大学生活に不安を感じながらも、浅野さんは自身の夢を明日に繋げるため日々頑張っている。2年次と3年次の2年

間クラスを担任された多田泰子先生は、「浅野さんは、落ち着いていて、安心して仕事を任せられる人でした。非常に協力的でクラスメイトからも人気がありました。コツコツと真面目に勉強するタイプで、英検2級を取得した頑張りやさんです。今まで通りの生活・学習を続けてくれれば、必ず夢が実現します。」とエールを送る。

浅野さんも「TOEFLを積極的に受験し、英語を自由に話せるようになりたい。英検1級を目指し、教員免許状も取得したい。将来は旅行関係の仕事に就き、国内外のいろんなところを見てみたい。」と夢膨らむ

18歳。光の子として歩むため、また夢を実現するためには浅野さんの挑戦は続く。



教頭
三浦 清子先生



担任
多田 泰子先生

私の出

岩手県立不來方高等学校

紫波郡矢巾町大字南矢幅第9地割1番1。全日制普通科に男子615人、女子637人の合計1,252人が在籍。昭和62年12月16日開催の岩手県議会において同校の設置が承認され、昭和63年4月1日に開校。今年で創立16周年を迎える新設校。卒業生は、5,100人を超える。



法学部法律学科1年

藤原 拓也 君

藤原拓也君の母校は、岩手県立不來方(こずかた)高等学校。校名の不來方は、南部藩の居城であった盛岡城の別名・不來方城に由来している。不來方高校は、社会の変化に対応し、生徒の個性を伸ばす教育を推進するため、昭和63年4月に創立された一番新しい公立高校で、岩手県立の高校では最大の規模を誇る。

同校は、普通科の学系制高校として人文学系・理数学系・芸術学系・外国语学系・体育学系の5学系を有し、生徒の多様な能力・適性・進路等に応じた科目の選択ができる総合選択制をとっている。教育課程は普通教科

樂部・美術部・写真部・文芸部・演劇部が岩手県高等学校総合文化祭や各種県大会で優秀な成績を収めている。なかでも、音楽部は全日本合唱コンクールで6年連続して金賞を受賞し、平成12年6月にはウィーン少年合唱団と共に演している。また、同校の進学率は毎年80%を超える。例年、国公立大学に70名、私立大学(4年制大学)には200名の合格者を出している。2002年3月卒業生の実績では、国公立が地元の岩手大や岩手県立大、弘前大、釧路公立大など東北・北海道地区への進学が目立つ。私立では、盛岡大に次いで東北学院大への進学者が多く、東北福祉大、中央大、獨協大、法政大、立命館大などの全国の大学に進学している。

藤原君は、高校の3年間ラグビー部に所属したラガーマン。文字通り文武両道で心身を鍛え、「東北学院大でラグビーがしたい。そして、大学選手権に出たい。」との思いでスポーツ推薦入試を受験した。体重60kgとラガーマンとしては小柄だが、9番・スクラムハーフとして同校のラグビー部を支えてきた。特に、高校3年生の時には、同校を岩手県民体育大会の準優勝校に導いた。顧問の瀬戸和彦先生は「とにかく運動能力が高い、と言うのが第一印象でした。どんなに怒られてもへこむことはなく、常にプラス思考で笑顔の絶えない生徒でした。」と話す。藤原君の夢は警察官になること。「大学で法律を専門に学び、将来は警察官として岩手に戻り社会に貢献したい。大学の4年間は、勉強と部活動を両立させ、友人も沢山つくりたい。初めての一人暮らしですが、自立する良い切っ掛けになればいいです。」と藤原君。持ち前のファイトで、

夢に向かって
大きく羽ばた
こうとしてる。
不來方高校の
校訓が、ここ
でも生きてい
る。

と専門教科の2つに分かれ、特に専門教科には「フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中国語Ⅰ・Ⅱ」「ドイツ語Ⅰ」「スペイン語Ⅰ」「ハングルⅠ」など高校では珍しい科目が置かれている。また、芸術学系には音楽・美術・工芸に関する専門科目が多く配置され、「レッスン室」「視聴覚・演奏室」「工芸・陶芸実習室」といった専門施設があるのも特色の一つと言える。

校長を務めるのは、6代目にあたる佐藤和孝先生。「この学校は、岩手全県から生徒が来るよう設置されています。ある地域の生徒たちだけの学校ではない、ということです。本校の校訓は自由・創造・飛翔です。日頃の勉強に、そしてクラブ活動に校訓が活かされています。私は、不來方高校は文武両道の学校だと思っています。部活動も非常に活発で全国大会にも出場していますが、文科省が認定している実用仮語技能試験2級に合格した生徒もいます。」と佐藤校長。

佐藤校長が話すように同校の課外活動は盛んだ。運動部ではハンドボール部・バレーボール部・ホッケー部が全国大会への常連校として名を連ね、柔道部・剣道部・水泳部・陸上部・スキー部・スケート部などでは岩手県高校総体で個人優勝も果たしている。文化部では、音



校長
佐藤 和孝先生



ラグビー部顧問
瀬戸 和彦先生

Campus Sketch

新入生を迎えて早1ヶ月が過ぎようとしております。
東北学院大学には、土樋キャンパス・泉キャンパス・多賀城キャンパスと3つのキャンパスがありますが、本号では春から夏にかけてのキャンパス風景をご紹介します。
“杜の都”仙台にある本学は、その名に恥じないよう最適の学習環境と生活環境を整えております。



土樋キャンバス礼拝堂



土樋キャンバス8号館



土樋キャンバス図書館



泉キャンバス礼拝堂入口





泉キャンパス2号館



多賀城キャンパス図書館



多賀城キャンパス礼拝堂

ゼミナール訪問

熊谷公男ゼミ

テーマ:日本古代史の諸問題

史学科 4年 佐藤 真奈美
宮城県第三女子高校出身



熊谷ゼミは毎年履修生が多いゼミです。私達の学年も23人という多さでゼミを行っています。日本史のゼミはどの分野においても人数が多いと言われていますが、熊谷ゼミはその中でも多いものとなっています。日本史だからという理由だけではなく、熊谷公男先生の人柄と日本古代史という分野への興味を持つ学生が多くいるため、熊谷ゼミには人が集まっているのだと思います。しかし、このような大人数といつてもゼミの内容が薄いということではありません。1人ひとりが課題に取り組み、先生も私たちの疑問・質問に丁寧且つ詳しく答えてくださいます。

3年生では先生も執筆された「日本の歴史」(講談社)の第4巻と第5巻を使用し、自分が発表する箇所に関する文献史料などを調べ、独自の見解をめざつつ、本の内容をより詳しくゼミ生に説明するという形式をとっていました。これは古代への知識・理解を深め、自分の見解を持てるようにするのとともに4年生で行う卒論の研究にも役立てるものとなります。

りました。

4年生でのゼミの内容は1人ひとりが卒論のテーマに沿って研究を進めるというものになっています。卒論のテーマにほとんど制限はなく、自分が打ち込みたい分野を自由に選ぶようにと先生はおっしゃってくださっています。

ゼミが始まり1年が経ちましたが、大人数のためかゼミ生同士まだ打ち解けていない人もいます。この1年でより関係の深いゼミになれば良いと思います。



先生からひとこと

研究は、まず「おもしろい!」と思うところからスタートします。でもそのあとは努力も必要です。楽しみながら頑張って下さい。

谷佑可子ゼミ

テーマ:環境問題と社会の関わりを考える

経済学科 4年 長山 聰
私立東北高校出身



私たちのゼミは、総勢10名という他のゼミよりは若干少ない人数ですが、優しい谷先生の下、和やかな雰囲気の中で充実したゼミの時間を過ごしています。研究のテーマは環境問題という難題を経済学・社会学的視点から考察することです。明確な結論が出ていない問題だけにやりがいもありますが、議論が暗礁に乗り上げる事もあります。そんな時には先生が「これについてはどう思います?」と別の視点からの考察を助けてくれたり、丁寧な解説をしてくれるので、スムーズに議論を行うことができます。

前年度では前期に『地球環境と経済』、後期に『環境社会学』という2冊の文献を使用して、各々が担当の章をまとめて、発表・議論していくスタイルでやってきました。今年は、それぞれの卒論のテーマに沿った文献やデータを要約・分析していく予定です。また、福島県にある風力発電施設を見学しに行く計画も挙がっています。

ゼミの方はちょうど一年が経ちました。私たちも先生やお互いの事を少しずつですが分ってきて、より結束が強まってきたと思います。残りの一年もこの調子で楽しく充実したゼミとし、多くの事を学んでいきたいです。



先生からひとこと

このゼミをきっかけに環境問題にも関心を持ち、広く・深く調べたり考えたりして、自らの見解を論理的に表現できるようになればと思います。私もまだ試行錯誤のところがありますので、ゼミの皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

Seminar

大学の年間スケジュール(学事暦)

月	前　期	月	後　期
4	1日(火) 成績発表(工学部、3・4年) 2日(水) 成績発表(文・経済・法・教養・二部、全学年)(工学部、2年) 3日(木) 入学式 4日(金) 新入生オリエンテーション(～9日) 10日(木) 授業開始 17日(木) 科目登録届提出(工学部、2・4年) 18日(金) 科目登録届提出(文・経済・法・教養・二部、全学年)(工学部、1・3年) 24日(木) 科目登録届確認(文・経済・法・教養・二部、2・4年)(工学部) 25日(金) 科目登録届確認(文・経済・法・教養・二部、1・3年)(工学部)	9	16日(火) 授業開始 前期試験成績発表 25日(木) 大学院入試(秋期) 29日(月) 9月期卒業・学位記授与式
5	15日(木) 創立記念日(授業休講) 24日(土) 後援会総会(10:40～ 泉キャンパス) 下旬 対青山学院大学総合定期戦(仙台)	10	18日(土) ホームカミングデイ(第4回同窓祭) 中旬 大学祭・工学部祭
6	中旬 対北海学園大学総合定期戦(札幌)	11	下旬 学生会総会
7	9日(水) 授業終了(文・経済・法・教養・二部) 10日(木) 補講(文・経済・法・教養・二部、～15日) 16日(水) 授業終了(工学部) 前期試験(文・経済・法・教養・二部、～23日) 17日(木) 振替授業・集中講義・補講(工学部、～22日) 23日(水) 前期試験(工学部、～31日) 24日(木) 夏休み開始(文・経済・法・教養・二部、～9月13日) 集中講義(文・経済・法・教養・二部、～31日) 下旬 対青山学院大学二部交流定期戦(東京)	12	5日(金) 泉キャンパス公開クリスマス 10日(水) 授業終了、クリスマス礼拝(文・経済・法・教養・二部、全学年) 11日(木) 冬休み開始(文・経済・法・教養・二部、～1月3日) 授業終了、クリスマス礼拝(工学部) 集中講義・補講(文・経済・法・教養・二部、～18日) 12日(金) 冬休み開始(工学部、～1月3日) 公開東北学院クリスマス(土樋キャンパス) 振替授業・集中講義・補講(工学部、～18日)
8	1日(金) 夏休み開始(工学部、～9月13日) オープンキャンパス 第31回アーサイナス大学夏期留学生出発(帰国:9月3日) 上旬 対北海学園大学二部総合定期戦(仙台)	1	3日(土) 冬休み終了 5日(月) 授業開始 10日(土) 授業終了 13日(火) 振替授業・集中講義・補講(工学部、～15日) 振替授業(文・経済・法・教養・二部、～17日) 16日(金) 後期試験(工学部、～24日) 19日(月) 後期試験(文・経済・法・教養・二部、～24日)
9	8日(月) 集中講義・補講(～13日) 13日(土) 夏休み終了	2	1日(日) 前期日程入学試験(～4日) 中旬 卒業生発表 25日(水) 大学院入試(春期)
		3	5日(金) 転学部・転学科試験 9日(火) 後期日程入学試験 24日(水) 卒業・学位記授与式

私と東北学院

工学部教授

星宮 務(ほしのみや つとむ)

1949年仙台市生まれ。東北大大学工学部卒、同大学院修了。専門は光計測。工学博士。

東北学院大学工学部助手・講師・助教授を経て、92年から1年間アメリカ・スタンフォード大学客員研究員。97年より現職。著書に『誘導散乱』(レーザー学会編、「レーザーハンドブック」) (オーム社)、『基礎物理学実験』(横書店)など。



—はじめに、星宮先生の研究テーマからお話を伺います—

「衣替え」で皆さんご存知の通り、光を物質に当てるとき熱に変わって暖かくなります。物質の一部をレーザー光線で加熱し、その熱の伝わり方の違いから内部に欠陥がないかどうかを調べています。この分野は物を壊さずに調べるために「非破壊検査」と呼ばれています。

—先生は中学、高校と東北学院の出身で、東北大大学で博士号をとられてから本学にお勤めになられましたが、東北学院との出会いは—

私の父が本学の教員をしておりました関係で物心ついた頃には父が学院大に、兄が学院高に居りました。ですから、私も自然と学院中学を受験する気になった訳です。

—中学、高校での恩師や勉強、友人、サークルなど、東北学院時代のお話を少々—

第一は、卒業する私に「Do your best now!」と色紙を書い



て下さった月浦利雄校長先生です。nowにアンダーラインを引いて私を見つめて下さったお顔は今でも忘れません。クラブ関係でお世話になったのは歴史部顧問の松山国夫先生ですね。クラブの友人たちと一緒に随分色々な所に研究旅行に連れて行っていただきました。あの優しい先生の博識にはいつも驚きの連続でした。一番の思い出は京都旅行でしょうか。

もう一人は聖書の「ゲンジョウさん」(水野和夫先生)です。授業の初めに出席を取る時、必ず生徒の住んでいる所の事などを話しかけるのです。言わば「精神的なスキンシップ」とでも言うのでしょうか。教師である自分にとって大切な事だなあ、と思いつき起されるのです。

—最後に学生諸君に一言メッセージを—

私が勤め始めた25年前頃の学生はいたずらが大好きでした。卒研発表の次の日に実験室に入るとクラッカーが鳴るように仕掛けたり、ゴールデンウィーク明けに研究室でコーヒーを飲もうとするとグラニュー糖の容器の中に味の素が詰まっていたり、とにかく面白い奴が多かったです。

今の学生諸君はそれから比べると本当にお上品ですし、「他人と違う」と思われる事に極端に恐怖心を持っている様ですね。自分の個性なんて隠しきれるものではないのですから、ドンドン積極的に個性を出し合い、研究室全体が「しゃぶしゃぶ」の様に「あく」をすくい続けないといけないほど個性と個性がぶつかり合う集団であったら良いと思うのです。それが「精神的なスキンシップ」ではないでしょうか?

大学役職者人事

任期満了に伴う大学の主要人事が次の通り決定しました。任期はそれぞれ4月1日から3年間となります。

◇学務担当副学長	大塚 浩司	(工学部教授)	◇文学部長	平河内健治	(文学部教授)
◇総務担当副学長	関谷 登	(経済学部教授)	◇経済学部長	遠藤 和朗	(経済学部教授)

同窓会設立100周年記念行事 問い合わせ先:東北学院同窓会 TEL022-264-6468

①英国イートン・カレッジ聖歌隊公演

期日:平成15年4月15日(火)18:00~
場所:ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

④チャリティーゴルフ大会

期日:平成15年11月14日(金)
場所:仙台カントリークラブ

⑦記念式典&記念パーティ

期日:平成15年11月15日(土) 17:00~
場所:江陽グランドホテル

②TG交流カクテル&ビアパーティ

期日:平成15年7月25日(金) 18:30~
場所:仙台国際ホテル

⑤記念礼拝

期日:平成15年11月15日(土)13:30~
場所:ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

⑧記念碑・記念記録(DVD)等の製作

③記念講演会

期日:平成15年10月23日(木)
講師:松岡佑子(ハリー・ポッターシリーズの翻訳者)
場所:東北電力ホール

⑥大韓民国平澤(ピョンテック)大学校芸術学部演奏会

期日:平成15年11月15日(土) 14:00~
場所:ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

一命と光と愛を世界のためにー

LIFE, LIGHT AND LOVE FOR THE WORLD

表題は、東北学院大学設置50周年を記念して制定された大学スクールモットーです。

「LIFE LIGHT LOVE」は、仙台大火災後、1922(大正11)年に再建された東北学院中学部新校舎の正面入口に掲げられていた言葉で、爾来、東北学院スピリットを象徴する3L精神として親しまれてきました。この言葉に関する言及は、第二代院長D. B. シュネーダー先生が日本基督教会東北中会の機関誌『神と人』第17号(1923年)に寄稿した「生命(いのち)、光明(ひかり)、愛」と題した説教の中にその敷衍的解釈が見いただされます。

3Lは、当時、アメリカ合衆国ドイツ改革派教会から派遣された宣教師たちにとって、彼らのキリスト教伝道のスピリットを表明する親しみ深い言葉でした。合衆国改革派教会の月刊誌『The Missionary Guardian』(1891年~)の表紙中央に「LIFE, LIGHT AND LOVE FOR THE WORLD」と記され、その下にマルコ福音書16章15節のイエス・キリストの言葉「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」が付されてあるとおりです。このように、3Lは、本来宣教師たちが宣べ伝えようとした福音を「全世界の生命、光、愛」として捉えた標語であると理解されます。それゆえ、21世紀の今日、3Lをもっと広く、また、現代人に理解されるように捉えられるべきと考えます。むしろ標語の原形に帰り、「LIFE, LIGHT AND LOVE FOR THE WORLD」として使用した方が現代人に理解しやすいと思います。

東北学院大学のスクールモットー「LIFE, LIGHT AND LOVE FOR THE WORLD」は、本学の教育の営みを表現するにとどまらず、本学を卒業した方々の励ましになる言葉であると考えます。

キャンパスの声 ～学生インタビュー～



岩澤 英樹 (たにざわ ひでき) 君
経済学科2年
宮城県泉高校出身
泉キャンパス・コミュニティセンターにて

東北学院大学は第一志望でした。校風も自分に合っていると思いましたし、昔から一番身近に感じていたんです。

入学時のオリエンテーション・キャンプは、これまでの学生生活の中で一番思い出深いものでした。先輩がとても気さくに話しがけてきて下さって嬉しかったです。他県の友達ができたことや、サークルの先輩に会えたこと…輪が広がっていくのは楽しいです。

所属している映画部は、「考える」時間を持つことができる貴重な場です。1年生の時は出演が主でしたが、これからは制作作業に携わっていけばと思っていますので、とても楽しみです。

ありがとうございます、ふだん言えないですけれど…自分の親に対しては感謝の気持ちを持っています。毎日楽しく過ごしているので、安心して見守っていてほしいですね。これからも精神的な面で頼つていきたいので、長生きして元気でいて下さい!

小原 恵 (おばら めぐみ) さん

史学科3年
秋田県大曲高校出身
泉キャンパス・図書館にて

高校の時から歴史に興味を持っていたんです。東北学院大学なら勉強できると思い、入学しました。

夏の考古学実習は忘れられません。宮崎町の公民館に一週間泊まり、食事とお風呂と睡眠以外は、掘り方作業。凄い充実感を味わえました。3年生からは土壙キャンパスで、一番興味のある民俗学を学んでいます。

3年生ということで就職活動も考えなくてはなりません。セミナーにはきちんと参加するつもりです。

勉強やサークル活動が忙しくて、実家にはたまにしか帰れないのですが…しばらくぶりに会うとありがたさを実感できるんですよね。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、そしてお母さん、元気ですか? 夏には帰りますので待っていて下さい。



森 祥子 (もり しょうこ) さん

英文学科4年
宮城県第一女子高校出身

土壙キャンパス・情報処理センターにて

東北学院大学で培ったものは英語力。自信を持ってそう答えられます。授業の他にも、E.S.S(英会話)の活動に参加したり、家庭教師のアルバイトで英語を教えたりと、私の学生生活は英語と切り離すことができません。将来は英語を活かすことが出来る環境で働きたいと思っています。

就職活動も佳境に入ってきた。就職資料室で情報を集めたり、情報処理センターのパソコンを使ってエントリーしたり…学校の設備にはとてもお世話になっています。

この大学は、本人のやる気さえあれば、それをしっかりサポートしてくれる体制が整っている所が素晴らしいと思います。大学を卒業したら自立して、両親が安心できるよう頑張ります。

教務部だより

1.科目登録について

(1)科目登録とは

科目登録とは、学則に定められた卒業の要件を満たすために学生一人ひとりが学科課程(カリキュラム)に基づいて自分の履修する科目を自ら決定し、自分自身の責任において授業科目の履修を届ける(登録する)ことを言います。一年間の授業計画を決定する、学生にとって最も重要な手続きです。学科課程表、大学要覧(シラバス)及び履修科目登録要項を熟読、熟考し、遅滞なく、誤りがないよう手続きをするよう指導しております。また、科目登録では進級または卒業要件を充たしてはいるが、誤った判断のもと、年度途中で登録科目の受講並びに定期試験を放棄し、その結果進級できない、あるいは卒業できないケースもありますので、途中で放棄しないよう併せてご注意願います。

(2)科目登録日程

①科目登録届提出

・4月17日(木) 工学部: 2・4年生

・4月18日(金) 工学部: 1・3年生

文・経済・法・教養学部: 1~4年生

②科目登録届確認

・4月24日(木) 全学部: 2・4年生

・4月25日(金) 全学部: 1・3年生

なお、不明な点につきましては、学生所属キャンパスの学務係または教務課に遠慮なくお問い合わせ下さい。

2.成績表送付の確認について

これまで、後援会総会及び地区後援会の際等に、親権者の方々からご子女の成績表を自宅へ送付して欲しい旨の要望が寄せられておりました。

大学といしましては、親権者の方々からの要望に応えるべく、平成15年度前期試験の成績からご子女の成績表を送付できるよう準備を進めておりますが、成績自体が学生個人の情報のため、一定の手続きを踏んでいただいたうえで親権者宛に送付することといたしました。

ご子女の成績表送付を希望の親権者は、次の手続きをお願いします。

①大学より8月頃に親権者自宅へ往復はがきを送付いたします。

②はがきには、「親権者への成績表送付依頼書(仮称)」が印刷されておりますので、親権者及びご子女がそれぞれ署名・押印の上、大学宛返送下さい。

手続きいただきました親権者の方には、ご子女の平成15年度前期成績より親権者自宅へ送付いたします。送付の時期は、ご子女への配付1ヶ月後を予定しております。

なお、この「親権者への成績表送付依頼書」は子女の卒業時まで有効とし、前期・後期の成績発表後に親権者宛に送付させていただきます。

就職問題を考える

—自分自身の努力と決断を—



就職部長 高橋 悠穂

平成14年度の就職状況は、ある程度予測はしておりましたが本当に厳しいものでした。未だ正確な就職率は決定しておりませんが、平成13年度の91.8%よりは明らかに低い状況にあると思います。そしてこの状況は、平成15年度になりましたも、改善される見込みよりもなお一段と悪化することが予想されます。

このような厳しい状況下で、自分の希望する職種や企業に就職するのには、仕事の内容や相手の企業に関する知識はもとより、仕事そのものに対する明確な意志と情熱を持つことが絶対不可欠で、その為にも出来るだけ早い時期に自分と真摯に向き合い、将来の進むべき道をおおまかにでも見いだしておくことが大切です。このことは、目指す方向が一般企業の社員、公務員、教員を問わず、どんな職業であっても該当いたします。

そのような意味で、頼りになるのは「自分自身の努力と決断」のみです。それ以外の「特効薬」なるものは存在しません。結果を恐れず、ただひたすら努力すること。そして努力そのものに価値を見出すという心がけを持つことです。結果は「運」も取り込み、後からついてきます。具体的には、健康はもちろん、学生の本分である学問に先ず勤しみ、さらに課外活動を含む学生生活を充実させ、それなりの「充実感」を持てるようになることが重要です。繰り返しになりますが、そうなれるように努力することです。なぜなら、充実感は自信を生み、それが「意志と情熱」があらわにされる就職試験の面接や集団討論の場で、言葉では言い尽くせられない説得力を發揮するからです。そしてその結果、企業の面接者が数年後にいきいきと働いているその学生の姿をイメージとしてとらえることが可能となり、採用することになるのです。

これまで、アルバイトの是非に関する多くの質問が寄せられております。それぞれのご家庭の経済事情もあり、一言では申し上

げられませんが、出来ることならアルバイトは学生生活の一部にとどめ、中心におかないようにして欲しいものです。それというのも、学生の思惑とは異なり企業の採用担当者は、アルバイトの経験をほとんど評価せず、それよりはむしろ、ボランティア活動やインターンシップの経験の方を評価しているからであります。このところをご家庭でも充分話し合っていただきたいと思います。

次に申し上げたいのは、自力本願、自分の努力を基盤にしたうえで、ゼミナールや卒業研究の担当教員及び就職部職員の「知恵と経験」を拝借することです。申すまでもなく、私たち教職員は学生の為に存在します。学生に対する教育の成果を見届けるためにも、私たちは学生の将来に大きな関心を持っております。ですから学生の方からも、自分の就職やキャリアアップについて遠慮なく相談し、自分の考えを述べて欲しいものです。私たちはそれをお待ちしているのです。

これまで東北学院大学は、「就職に強い大学」との社会的評価を受けて参りました。それは本学のきめこまかい就職支援システムにあります。土樋、泉、多賀城の各キャンパスには、女子学生の就職活動にも配慮して、男女総計14名のベテラン職員が配属されており、学生はどのキャンパスでも就職支援サービスを受けることができます。具体的な就職相談はもとより、企業案内の閲覧や就職情報検索のためのパソコンの使用も可能です。その他、業界・企業研究講座、先輩体験談などの多くの支援プログラムも用意しております。平成15年度からは、就職活動の早期化に対応し、従来の3年生を対象にしていたプログラムに加え、新たに2年生を対象にしたプログラムも用意いたしました。また、単位が認定されるキャリア支援の為の教育プログラム(変貌する社会における「働くこと」と「私」—未来の選択への道しるべ)を、1年後期の科目として開設いたしました。就職のための助走をつける意味からも、キャリアアップを図るためにも、より積極的に支援サービスを受けることを勧めます。また就職相談のサービスは、学生のみならずご父母の皆様にも開かれております。どんな相談でも構いませんので、遠慮なさらず、学生の通うキャンパスにお問い合わせ下さい。

学生自身の努力とご父母の皆様の協力、そして就職支援サービスの活用により、学生がそれぞれ自分の得意とする分野に進むことが出来、そこで社会人として活躍することが、私たち東北学院大学に関わる者の希望であり、大きな喜びとするところであります。今後ともご父母の皆様のご支援をお願いいたします。

同窓生インタビュー「今、旬の人」

本学の同窓生で第86回文學界新人賞を受賞し、第119回から121回目の芥川賞候補にもなられた作家の若合春侑さんに、文學界新人賞受賞作「腦病院へまみります。」と、今年2月に刊行された「無花果日誌」の2作品についてうかがいながら、彼女の執筆に対するこだわりと、表現することへの思い入れについて、お話をうかがいました。

第86回文學界新人賞受賞作家 第24回野間文芸新人賞受賞作家 **若合 春侑(わかい すう)さん**

1958年8月11日生 宮城県塩竈市出身
昭和56年3月本学経済学部経済学科卒業。広告代理店社員、添削指導員などを経て、1998年4月15日『脳病院へまみります。』第86回文學界新人賞受賞、同年5月から執筆に専念。



今年2月に出版された「無花果日誌」は、ご出身の塩竈が舞台になっていますが、これは自伝的小説として書かれたものですか。

「無花果日誌」は、自叙伝ではなく、自分の経験や記憶を材料にした小説です。高校時代に言いたくても言えなかつたこと、感じていたのに表現できなかつたこと、取りこぼしていた部分…、そういうことが愛おしく思えてきて、書いてみようと思ったのです。高校時代の想いといつても、その頃の文章は自己中心的で空回りしたものでしたから、やはり今でないと書けなかつたと思います。

また、これまで正字正假名遣いで書いてきたことで、現代文になると文章が崩れてしまうのではという恐怖感があったので、言葉を無駄にしないよう大事に書くことを心掛けました。

第86回文學界新人賞を受賞した「脳病院へまみります。」や「世間様かくありき」を正字正假名遣いで執筆されたのはなぜですか。

私が生まれた昭和30年代は、街の中にもまだ正字正假名の名残りがありましたし、父母は正字正假名で教育を受けた世代です。母などは今も正假名遣いで文章を書いているくらいですから、私にとっては特別なものではなく、ごく身近だったのです。

35歳の時、あることをきっかけに谷崎潤一郎の初版本を集めようになり、古本屋に通っていました。その時手にした昭和初期の婦人雑誌がおもしろく、その頃の女性たちに興味がわき、当時の女性を題材にした文章を書き始めたのです。とにかく、書けば書くほどおもしろくなり、表現したいことがどんどん膨らんでいきました。そして「脳病院へまみります。」を一週間程で一気に書き上げ、文學界新人賞に応募したのです。

「脳病院へまみります。」と「世間様かくありき」を正字正假名遣いで表現したのは、時代考証のようなものです。語り口にも徹底的にこだわりたかったからです。時代劇に電信柱が出てこないよう。

作家デビューされたのは、40歳になってからですが、作家になりたいと思ったのはいつ頃ですか。

思春期に、「自分で何者?」と考えることがあるでしょう。私は中学3年生の時点で「自分は文章を書いて苦しんで生きていくんじゃないかな」とおぼろげに思いはじめて、20歳の頃には「40歳になった時、作家になれるような生き方をしたい」と考えていました。この先の20年間は、何でも取り込んでやろう、小説を書くことが目的なのではなく、小説を書けるような20年にしてやろうと思ったわけです。そして、39歳の終わりに新人賞をとって、40歳で本が出て作家になったのです。でも、ずっとそう思い続けていたわけではなく、35歳の時に振り返ってみたら、「ああ、私何もしていない。このままじゃ死ねない!」と思ったのです。あの時思い出したからよかったのですね。

本学在籍中に夢中になっていたことはどのようなことですか。

邦楽部で民謡と三味線をやりながら、ヤマハのポピュラーソングコンテスト(ポップコン)でニューミュージックを歌ってました。デビューの話もあったのですが、父親の反対で断念しました。その頃から自分を表現することに夢中だったのです。

在学生や、本学で学びたいと考えている方々にメッセージをお願いします。

大学の教科書を全部とてあるのですが、35歳を過ぎて社会学の本を読んでみたら、とてもおもしろかったです。在学中に充分に理解できなくても、いつかもう一度学んでみたいと思った時のために、卒業後も本棚に入れて置くことをお勧めします。

せっかく入学したのですから、この機会を無駄にせず、どんどん学んでほしいと思います。とにかくこの時期は、楽をしようとせず、徹底的に苦しんだ方がいいのです。逃げないで何でも取り込んで、自分で噛み砕き、それを栄養にしていけばいいのです。

一本学広報誌 ウーラノスvol.11(平成14年10月20日発行)から転載

各種奨学金のご案内

奨学金制度は、経済的事由によって修学が困難な学生に対して学資を貸与(給付)し、修学上の経済的障害を取り除いて学業に専念できるよう援助することを目的としています。特に近年は、奨学金制度の新設や充実発展により、多くの学生が奨学金の貸与を受けながら勉学に励んでいます。出願は学生本人からとなりますが、奨学金の種類を皆様にお知らせいたします。

奨学金の種類

日本育英会奨学金

- ①第一種奨学金
- ②きぼう21プラン奨学金
- ③緊急採用(第一種)奨学金
- ④応急採用(きぼう21プラン)奨学金

東北学院大学奨学金

- ①奨学会奨学金(無利子貸与)
- ②キリスト教学科奨学金(無利子貸与)
- ③夜間主コース奨学金第1種・第2種(給付)
- ④緊急奨学金(無利子貸与)
- ⑤学費ローン利子給付奨学金(給付)
- ⑥入学時ローン利子給付奨学金(給付)

地方公共団体奨学金

各都道府県・市区町村等の教育委員会で扱っている奨学金制度。詳細は、学生本人の出身地の教育委員会等まで。

民間育英団体奨学金

民間育英団体・財団等で扱っている奨学金制度。

※各種奨学金の内容・手続等については、学生部発行の『奨学金ガイドブック』に記載しておりますので、ご参照下さい。なお、奨学金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

- ◆土壇キャンパス学生課厚生係 TEL:022-264-6472
- ◆泉キャンパス学生係 TEL:022-375-1152
- ◆多賀城キャンパス学生係 TEL:022-368-1120

後援会からのお知らせ

後援会では、会員であるご父母からのご要望に応え、開催を休止していた大館地区(秋田)・釜石地区(岩手)・北上地区(岩手)・鶴岡地区(山形)の4地区を平成15年度から復活させ、また新たに気仙沼地区(宮城)を追加いたしました。これにより大学とご家庭との連携が一層深まり、ご子女の大学生活が充実したものになることが期待されます。ご父母の皆様には、後援会総会(大学開放プログラムを同時開催)をはじめ、全32地区で開催される最寄りの地区後援会にご参加下さり、直接大学から派遣される教職員と交流を図っていただきたいと願っております。

また、後援会では「緊急貸与奨学金」へ助成を行っております。経済事情の変動にともない奨学金の貸与を希望される方は、学生課(係)で相談して下さい。なお、申請は学生ご本人からとなります。

サークル紹介 Circle

体育会 剣道部



主 将
経済学科4年
白鳥 圭祐
市立仙台高校出身

東北学院大学の剣道部は、男子36名、女子15名から構成され部員一同熱のこもった稽古を毎日2時間行っています。本学剣道部は、第47回と第48回全日本学生剣道優勝大会において第三位に連続入賞することができました。また、東北学生剣道優勝大会では、男子26回、女子9回の優勝を果たしています。個人戦でも全国大会に出場し、全国の強豪選手との試合経験が数多くあります。

この伝統ある剣道部に入部して、また、今まで剣道をしていて得たものはたくさんあります。私は、9歳の頃から剣道を始めました。当時は毎日厳しい稽古で、家に帰つてきても疲れて寝てしまうような生活が続いていました。高校の時は特に厳しく、休みがあまり無かった上に朝稽古があり、友人と始発の電車で寝ながら通っていました。そんな日の学校の授業は、睡魔との闘いで、勉強と剣道の両立は大変でした。そんなことも今となっては良い思い出です。

そして、大学生活が始まり、そのなかでも剣道部の活動に

は言葉では言い尽くせないほどの思い出があります。昔と変わらず、ほとんど毎日稽古をしてきたわけですが、一日の稽古の時間はわずか2時間。しかし、この2時間の中には、他では味わえないような、深く充実した、たくさんの経験や思い出があります。部員全員で同じ目標に向かい、達成するために一人ひとりが意識を高めている時の稽古は、何度もぶつかり合ったり、助け合ったりしながら、その中でチームワークを育み、一回一回の稽古を大切にしてきました。だからこそ試合で勝ったときの喜びは大きく、本当に忘れられません。

また、稽古以外でも、先輩と後輩のコミュニケーションは抜群でとても楽しいものでしたが、やはり「やるときはやる」といったけじめがあるからこそ、心をひとつにして全員で協力し、支えあってこれたのだと思います。もちろん、その陰には、諸先生、諸先輩方のご指導と周囲のご支援を忘れてはならないことです。特に、両親には、感謝の気持ちでいっぱいです。その感謝の気持ちや今までの経験を活かして、先輩方の築いて下さった伝統に恥じないよう全国大会優勝を目標に全員で力を合わせて努力精進していきたいと思います。



文化団体連合会 奇術研究会



幹事長 法律学科3年
高橋 康介
宮城県石巻高校出身

奇術研究会(TGMC)は、昭和42年(1967年)1月25日に東北学院大学奇術愛好会の名称でスタートしました。和妻(日本伝統の手品)、ステージマジック、テーブルマジックの3本を中心に学生ならではのオリジナル奇術を目指して活動しています。現在の奇術研究会に昇格したのは今から32年前の1971年、今年で創部38年目を迎えることになります。

現在の部員は26人です。一週間に一度全員が集まり、トランプや小さなボールあるいはハンカチーフなどを使って手品の練習をしています。そこで覚えた手品は、様々なところで発表します。老人施設や児童施設を訪問して行う訪問発表会、友人や一般の人々を対象に発表する大学祭、仙台市の施設を借りて一年間の活動報告を行う定期発表会、東北大および山形大学と合同で行う東

北学生奇術連盟発表会など、一年を通して数多くの人々に私たちの練習の成果を見ていただいています。

私たちの奇術研究会には約200名のOBがいますが、そのうちプロマジシャンになって現在も活躍されている先輩もあり、アマチュアでも家族ぐるみで手品を続けている人もいます。また、最大のコミュニケーションの道具として、仕事に活かしている先輩もいます。

私は、奇術研究会の活動を通じて沢山のものを得ました。手品の技術はもとより、その手品を習得できたときの達成感や充足感の大きさ、また発表会などで人前に立つ経験は日常生活では得ることのできないことであり、将来役に立つ貴重な経験であると思います。そして、このサークルで出会った同級生や先輩・後輩は、私にとって大切な友人であり、掛け替えのない仲間です。これからも、発表会などを通してもっと多くの人に手品の不思議さや面白さを伝えてきたいと思っています。



編集後記

「後援会通信」は今回で第2号となりました。昨年の3月にようやく創刊号を発行し、ご父母の皆様にお届けいたしましたが、今年度からは4月と10月の年2回発行して参ります。4月は春号として、後援会総会並びに地区後援会のご案内、また春号にふさわしく新入生にスポットをあてるコーナーを設けました。さらに、ご父母の皆様に大学の様子あるいはご子女の学生生活を知っていただくために、

年間の行事予定や学生へのインタビュー記事、それとキャンパスの四季折々の風景を掲載いたしました。

後援会事務局では、「後援会通信」が皆様のより身近な機関誌となるよう努力する所存です。10月の秋号も皆様のご期待に沿えるよう内容を充実させて編集して参りますので、今後ともさらなるご支援をよろしくお願い申し上げます。

後援会事務局長 高橋征士

GROWTH

GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、小さな種が大きな木に成長し空の鳥がその枝に巣を作る(マタイ13章32節)。また、そのように大きく成長させてくださるのは神である(1コリント3章6節)と記されており

ります。東北学院大学の学生の皆さん各専門分野において知識や技術や教養を充分に修め、神と人に祝されつつ大きく成長するようとの期待が表題の**GROWTH**に込められております。